

術前休薬していた薬剤について術後に再開を確認した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、術前休薬していた薬剤について、術後に再開を確認することで、適切な薬物療法に貢献できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶腎癌に対する手術目的で入院された患者

【持参薬（一部抜粋）】

サアミオン錠 5mg 1回1錠（1日3回） 毎食後

※サアミオン錠：添付文書より血小板凝集抑制作用あり



Dさん

入院日

入院されるにあたって、飲むのをやめるように言われているお薬はありますか。

サアミオン錠は飲むのをやめるように言われてます。昨日から飲んでないですよ。

分かりました。手術後に再開すると思いますので、確認しておきますね。



Dさん



薬剤師

術後3日目

手術して3日経過しているが、手術前から休薬しているサアミオン錠の服用が再開されていないようだ。

Dさんの服用薬剤について確認があります。手術前に休薬されていたサアミオン錠ですが、再開されていないようです。出血は起こっていないようですが、再開することは可能でしょうか。

そうですね、翌日よりサアミオン錠を再開しましょう。再開する指示を出しておきます。



医師



医師への確認後、速やかにサアミオン錠の処方と再開の指示がなされた。

術前休薬していた薬剤について、術後に再開を確認することで速やかに内服を再開することができ、適切な薬物療法に貢献できた。

※ 出血リスクが高い手術等におけるサアミオン錠の休薬期間の目安：2～3日（リスクに応じて判断）
【DIニュース2021年8月1号「抗血小板薬・抗凝固薬の手術前休薬期間の目安」参照】